豫想外だと樂觀の態

三社を通じ二割八分と發表 未だ容易に樂觀を許さず

頗る穩

かに入場を終つた同日の出動職工數に就き會社の既表を見ると造船所の出動者は全職工數の約四割二分を占め會社は最初だと非常の樂觀で此の機先を所つては成らぬと二社揃つて第二年目の祭日及び明卅一日の日曜日は職工を取淨し就業する旨發表した

機械工場

機械警察署の調査によると百九十六名で會社の發表は七時半入場を許した故に四百十六名の入場職工を見たと言つてゐるが實際の在籍職工數ご入場人員を比較すれば左の通りである

造船所

	在籍	入場數
總數	二、九八一	九三四
職機	三、三二〇	五八七
修繕	一、四一九	三〇九

此數字を見なりさすれば意外の入場數を見たのだが前記警察の調査によると倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

かに入場を終つた同日の出動職工數に就き會社の既表を見ると造船所の出動者は全職工數の約四割二分を占め會社は最初だと非常の樂觀で此の機先を所つては成らぬと二社揃つて第二年目の祭日及び明卅一日の日曜日は職工を取淨し就業する旨發表した

機械工場

機械警察署の調査によると百九十六名で會社の發表は七時半入場を許した故に四百十六名の入場職工を見たと言つてゐるが實際の在籍職工數ご入場人員を比較すれば左の通りである

造船所

	在籍	入場數
總數	二、九八一	九三四
職機	三、三二〇	五八七
修繕	一、四一九	三〇九

此數字を見なりさすれば意外の入場數を見たのだが前記警察の調査によると倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

電機會社

	總計	務	電機會社
全員	一、一八〇	三二八	三二〇
全員	八、〇七九	二、〇五六	八七〇
累計	一〇、〇三九	二、八九二	四一六

內燃機會社

右の如

く三社全職工の累計一万三十九名に對し二千八百九十二名の出動であつて出動數の中には、三社を通じ工伍長約百五十名、雇夫約五百名及び內燃機の最初より加はせぬ三百餘名も包含されてゐる故之を

差引

き直接機械に關れる職工は頗る少數に爲つて了ふ譯で現休職工の結果は依然鞏固と觀察されてゐる

三菱隊も衝突

先づ會下山に集合して 五千名長田神社に熱禱を捧ぐ

前夜の最高部の決議で會社の始業を厳に懸垂二十九日午前六時から繰々會下山差して蝟集して來た三菱職工は山麓に張込んでゐた淺川警察の署長に

解散を

命ぜられ一先づ上澤通市電敗線の空地まで退き爰に又分散して爲つたので警官は再び同所に集せ付け解散を命じやうとしたが動かず五百餘名の一團に達した午前七時警官の制止は遂に効無く再び銳く會下山頂に登り着いて終つたこの急報に接し虎原淺川署長は四五十名の正服巡査を隨へ急行し尚陣紛

登攀し

て來る職工に向ひ「今日から社へ始業したから此の場所で集合する事は厳禁する」と一塩の訓示演說を與へたので職工も漸

約五千

の大集團ごなり到着ご同時に神前に罪まり殷紛の禮を正し「君が代」を合唱し終つて春田委員は戒撞祈願の祈願文を音吐朗々紡上げた一同思はず頭を垂れた

終つて陸軍丸茶石燈籠の上に立ち「我本家の頑冥な我々此期に於て醒させねばならない」と簡單な一場の激勵演說を試み勞働歌を二回高唱し八時半國神社を出發駈足に勞い込んで五番町に出で折れて下り踏切を南へ一直線に川崎兵庫分工場和田宮通四丁目〇孝所長の邸宅前を通過し十時前先頭は和田宮神社に到着參拜を遂げ十時十分和田宮神社前を北へ電車通に出で相生町を經て淺川神社に到着したのは十一時前であつた尙ほ右巡行中吉田新田附近で電機工の小玉某は伊社の掲示せる貼紙を引破つた廉で檢束された

聲を嗄

らして制止しつ一同に對し「委員二十名選び代表として參拜する事を許すが一同境內に入る事はならぬ」と斷然申渡し言葉を叫ぶ毫爲の急報に接し直ちに警戒を厳にし折柄然同警部は背後にあつた何者かの爲めに脚を掬られ倒くさ打倒したのを見た職工は鬨の聲を上げ警官が必死ごなつて鎭止するを聞かず雪崩打つて境內へ流れ入り解散を命ぜられつゝも勞働歌を讀み上げ間もなく無事解散したが

正門突

破の際職工團にも背後から押出されて石段の上に倒れ滿足の擦傷を負ひ職工樂觀武八（二）搬殺部木原半一（二）の三名は踏倒されて樂、村岡の兩名一時人事不省に陷り木原は餘程の重傷で聖立病院に舁き込まれた

右に就

き十尼で陸軍部は語る「アノ際若し神前で無かつたら抜刀するこも仕務は全うしてゐたのですが、神前を慮り此通りです」と口を緘して除り語らなかつ

警官の拔劍は防衛上止を得なかつた

其責任は自分が負ふ 坂本警察部長が語る

職工團は鎭止してある示威行列ご同じ行動をした

川崎造船職工團ご警官隊ごの衝突に就いて坂本警察部長は

「飽く迄も最止中立を保持して居た警官ご、今まで秩序正しく行動して居た職工團が衝突して幾人かの負傷者を出した事は甚だ遺憾に思つて居る

自分は職工團の示威運動なるものが多少惡化を來したご認めたから過日その示威運動は差止めたのであつた、然るに職工團は示威運動に代るに神社の團隊參拜をするこ云ふ名の下に二十八日の和ご長田神社から淺川神社までの間を全然示威運動ご等しき行動を執り多數の團隊が急步調で練つて歩いた事實もある

それでは示威運動禁止の意味を成さぬから二十八日職工團に向つて今後神社に團隊參拜をするなら必ず一神社に際つたら宜かうこう所の神社に參拜するなら乙の神社へ移る際ごすしても示威運動にでない團隊行列ごなるから必ず一ヶ社に限る事にせよこ傳へた所が二十八日の夜遲くなつて職工團から、既に警部會議で豫め行動を確定してあるから今更變更はできないこ云つて來た、然るに二十九日朝生田神社に一万餘の職工が集團し盛に勞働歌を高唱したなこは純たる示威運動の形ゝ成して居た

除こ現て取り返さうこした、職工團は忽ち石を投じ警官を取り巻いて暴行を爲出したから止むを得ず正當防衛上拔劍をするに至つたのであつた

此の場合警官が拔劍をした事は眞に防衛上止むを得ずであつてこに對する責任は私が引き受けるこ云ふ名の下に二十八日の和ご長田神社から淺川神社までの間を全然示威運動ご等しき行動を執り多數の團隊が急步調で練つて歩いた事實もある

それでは示威運動禁止の意味を成さぬから二十八日職工團に向つて今後神社に團隊參拜をするなら必ず一神社に際つたら宜かうこう所の神社に參拜するなら乙の神社へ移る際ごすしても示威運動にでない團隊行列ごなるから必ず一ヶ社に限る事にせよこ傳へた所が二十八日の夜遲くなつて職工團から、既に警部會議で豫め行動を確定してあるから今更變更はできないこ云つて來た、然るに二十九日朝生田神社に一万餘の職工が集團し盛に勞働歌を高唱したなこは純たる示威運動の形ゝ成して居た

此の場合警官が拔劍をした事は眞に防衛上止むを得ずであつてこに對する責任は私が引き受けるこ云ふ名の下に二十八日の和ご長田神社から淺川神社までの間を全然示威運動ご等しき行動を執り多數の團隊が急步調で練つて歩いた事實もある

それでは示威運動禁止の意味を成さぬから二十八日職工團に向つて今後神社に團隊參拜をするなら必ず一神社に際つたら宜かうこう所の神社に參拜するなら乙の神社へ移る際ごすしても示威運動にでない團隊行列ごなるから必ず一ヶ社に限る事にせよこ傳へた所が二十八日の夜遲くなつて職工團から、既に警部會議で豫め行動を確定してあるから今更變更はできないこ云つて來た、然るに二十九日朝生田神社に一万餘の職工が集團し盛に勞働歌を高唱したなこは純たる示威運動の形ゝ成して居た

右三菱

工團が補社警戒に向つたこの急報に接した相生橋巡査は直ち警戒の爲の東西及び正門に各二十名の巡査を配置し警戒の手配りは出來てゐたが警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

楠社正門に小競合

谷口警部押し倒されて負傷 職工側も亦三名重傷す

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである

警部は厳重警戒の出動を命じ置き自身は補社に向ひ川崎警部を耳に囁くこ倘休五日名の職工の結果は揃れてゐない事が明かである